

荒尾市上下水道事業運営審議会 議事録

日時：令和5年2月2日（木） 14時00分～15時15分

場所：荒尾市役所 32号会議室

出席委員（敬称略）	近畿大学 経営学部 教授	浦上 拓也
	EY新日本有限責任監査法人	西 秀雄
	荒尾商工会議所	江崎 光恵
	女性ネットワーク荒尾	深浦 淳美
	荒尾市食生活改善推進員協議会	田頭 スエカ
	荒尾市地区協議会会長会	中村 泰彦
	株式会社肥後銀行荒尾支店長	前田 裕規
	荒尾市総務部長	石川 陽一

配布資料 資料－1 次第書
資料－2 審議会委員名簿
資料－3 審議会席次表
資料－4 荒尾市上下水道事業運営審議会条例
資料－5 令和3年度荒尾市上下水道事業会計決算の状況
資料－6 荒尾市水道ビジョン（平成30年版）フォローアップ版（素案）

1. 開会

（事務局） これより令和4年度第1回荒尾市上下水道事業運営審議会を開会いたします。
それでは次に企業局を代表いたしまして、企業管理者の宮崎より、皆様にご挨拶いたします。

（企業管理者） いつもお世話になります。企業局宮崎でございます。
本日は大変お忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。
本日の審議会では、令和3年度の決算報告や平成30年度に作成しまして5年が経過しました荒尾市水道ビジョンのフォローアップについて、ご指導やご意見をいただければと思っております。

新たな委員の方にも、上下水道事業の状況を知っていただき、これからも会長の浦上先生をはじめとした委員の皆様からのご指導やご鞭撻をいただき、スローガンであります「あらおの水、蛇口から出る安心をこれからも」に職員関係者一同一丸となって取り組んで参りたいと思っております。どうぞ本日はよろしく申し上げます。

(事務局) 続きまして、新しい委員様のご紹介をさせていただきます。

任期満了や転勤等により退任・辞任された方が3名、新しく委員となられた方が2名ございました。

学識経験者として入っていただいております加藤先生が、令和4年4月より、関東へ転勤されて、本審議会委員については辞任されております。

加藤先生の後任につきましては、会長と相談の上、今期の委員の期間中は空席とすることといたしております。

次に、荒尾市地区協議会会長会から就任いただいております田中委員が任期満了にて退任されており、その後任として、中村委員に新たに就任いただいております。

(中村委員) 田中委員の後任として地区協議会会長会で任命されました中村と申します。よろしくお願いたします。

(事務局) 肥後銀行荒尾支店から就任いただいております福永委員が転勤により辞任されまして、新たに肥後銀行荒尾支店長となられました前田委員に新たに就任いただいております。

(前田委員) 福永の後任として、昨年の4月より荒尾支店長を勤めております前田でございます。どうぞよろしくお願いたします。

(事務局) 荒尾市上下水道事業運営審議会条例第5条第2項に基づき、ここからは浦上会長を議長として進行をお願いしたいと思います。浦上会長、よろしくお願いたします。

浦上会長挨拶

(会長) 会長を務めております近畿大学の浦上です、引き続きよろしくお願いたします。

ウクライナ戦争に伴いまして、エネルギー価格の高騰による電力の高騰など水道事業取り巻く環境も非常に厳しさを増しております。最近、私も各地での上下水道に関する審議会など参加させていただいているのですが、料金増収の話が出てきております。

その中で感じていることとして、上下水道事業は、市町村で経営されていますので、そう簡単に料金を変更できるものではないということです。料金を上げる場合に条例を改正するなど煩雑さもあります。そもそもその料金改定すら認めてもらえない、料金を据え置くためにどうするという議論を行い、企業債、借金の額を増やすことで料金据え置きを考えるのですが、結局それは将来世代に負担を押し付けていることには変わりありません。荒尾市では、もともと料金を改定しようという中で、いろいろな環境変化があり、時期を見据えている状態と聞いています。

私たち審議会委員も、水道・下水道に対する理解を深め、活発な議論をしていただきますようよろしくお願いたします。

2. 議題

(1) 副会長の互選

(会長) 着座にて議事進めさせていただきます。

これより令和4年度第1回荒尾市上下水道事業運営審議会の会議を開きます。

まず議題(1)、副会長の互選を議題として取り上げたいと思います。副会長が現在空席となっておりますので、副会長を互選する必要があります。

どなたか立候補、もしくは推薦していただける方があれば、ご発言をいただきたいと思っております。

(委員) 本審議会に学識経験者として委員にご就任され、公営企業会計にも精通されておられます公認会計士の西委員を副会長に推薦いたします。

(会長) ただいま西委員を推薦する声があがりましたが、皆さんいかがでしょうか。

(委員) 異議なし。

(会長) ご異議がありませんので、西委員が副会長に選任されました。西委員、一言受諾のご挨拶をよろしく申し上げます。

(副会長) 副会長に選出いただきました公認会計士の西でございます。荒尾市水道ビジョンの作成の時から携わらせていただいております。その経験を生かして副会長の役割を果たしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(2) 令和3年度荒尾市上・下水道事業決算に関する質疑

(会長) それでは続きまして、議題の(2)令和3年度荒尾市上下水道事業会計決算に関する質疑を議題としたいと思います。事務局から追加の説明があればお願いいたします。

(事務局) 〈資料5 「令和3年度荒尾市上下水道事業会計決算の状況」について説明〉

(会長) これらの決算の内容に関しまして、ご質問ご意見等ございましたら挙手にてお願いいたします。

(会長) 経営は厳しくなってきたという状況でしょうか。

(事務局) 水道ビジョンと類似した数値になってきております。

(委員) 水道の6ページ、建設改良費がビジョンに比べ前倒しで更新投資がされているようですが、それはアセットマネジメントによる見通しが立ったので、進められるところから始めているといった認識でよろしいでしょうか。

(事務局) 水道ビジョンを策定いただきました時には、未完成でありましたアセットマネジメント作成において更新計画をこの先50年分を検討いたしました。

その中で、管路の更新は年3億円という額を決めて始めております。しかし、実状を申しますと新たな南新地土地区画整理事業など新規の開発事業が増えたことにより、更新工事の方に満額のお金がつけられていないという状況でもあります。なるべく予算を確保し更新にも力を入れているというところです。

(会長) その他、よろしいでしょうか。

それでは、議題の(2)は、こちらで終了したいと思います。続きまして、議題(3)に移りたいと思います。

(3) 荒尾市水道ビジョン(平成30年度版)のフォローアップ(素案)について

(会長) 荒尾市水道ビジョン平成30年版のフォローアップ(素案)について、を議題としたいと思います。これについて事務局より説明をお願いいたします。

(事務局) 〈荒尾市水道ビジョン平成30年版のフォローアップ(素案)について説明〉

(会長) ただいまご説明がありました荒尾市水道ビジョンのフォローアップ素案につきまして、ご質問ご意見ありますでしょうか。

最初に私から、4ページ目の表1のABCの評価のところ、重点施策とそれ以外の施策はAの実施済みが多く、Bもこれから後半5年間に行うということで、Cはないということからすれば、順調にきているという理解でよろしいですね。例えば、コロナやウクライナの戦争などによるエネルギー価格高騰や資材価格高騰、などものすごい社会環境の変化があった中で、何かお困りになっているところはないですか。

(事務局) 全てが順調ということはありません。経営面では、料金改定時期は早い実施が影響も早く出るため良いのですが、コロナ禍や物価上昇により時期の判断が出来ていない状態は課題点です。また、管渠の老朽化対策にて年間3億円行うと決めていましたが、新規布設が必要な事業が始まったことにより、新規布設と老朽管更新費用を併せた3億円の枠の中で管渠工事を行っており、老朽化対策が思うほど進んでいない課題がございます。

(会長) 3億円の枠というのは、金銭的な問題のほか仕事量に制約があるということですか。

(事務局) 仕事量的には出来るかもしれませんが、どちらかと言うと金銭面が大きいです。

(会長) 計画通り全てやらないといけないというわけではなく、いろいろな状況の中で臨機応変に対応していく必要もあります

そうすると後半5年間の計画の中に、今回起こっている様な変化も少し織り込んでいくという理解でよろしいですか。

(事務局) 収支計画の推移の中で、状況変化を条件として織り込む必要があると思います。

(会長) そうすると従来の計画と見直した所が分かる様に記載していただくような工夫もあるといいなと思います。

(事務局) アセットマネジメント策定の影響で工事費用が変わっていることもあり、根本的に数値が変わってくる可能性もありますので、元々のビジョンの収支計画から、どれくらい変わったかという差分の記述方法など工夫してみます。

(委員) 水道料金は早く上げなくて大丈夫かなという不安はありますが、電気代が上がる中で水道料金も上がりますので、助成金とかあればいいなと思います。今、光熱費が家計を逼迫している感じはあります。

(会長) そうですね。家庭に与える影響もあると思います。

水道と下水道は、ものすごく電気を使う産業だということは、ご存じですか。（「はい」との声あり。）それで、今、事業コストがどんどん上がっています。

(事務局) 来年度予算ですが、水道事業の電気料分として年間約9千万円計上する予定です。これは、令和4年度に比べ約3千8百万円上がっております。

(委員) そういう意味で、将来予測でいろんな費用の項目がありますけれども、市民の方々が分かりやすいような項目を並べるなど見せ方として分かりやすいように分けて記載する工夫があってもいいと思います。

(委員) 電気代が上がっているっていうのは、市民の方は、すごく実感されていると思います。高くなっているから水道の方も、今すごく経営が大変だよというのが見えるとわかりやすいと思います。

(会長) そうですね、電気料金や資材価格の高騰など従来との環境の変化を見せ、理解を求める資料作りがあつていいと思います。また一時的なものではなく、ここがベースになりますますので、いろんな価格も元に戻るだろうというような楽観的な見通しとして誤解にならないような見せ方にも注意が必要です。

(委員) 水というのは一番命ですから、大事にしなくてはいけない。これが赤字になったときは、電気代と一緒に上げなければいけないと思います。

(会長) 水道をアピールするため理解を深めていただき周りの人にも紹介してください。

(委員) 荒尾の上下水道料金は、単身の1人世帯ですのでそんなに使わないというのがありますが、月に2800円くらいの基本料金ぐらいで安いと思っています。熊本市の自宅は、マンションの管理組合に、毎月1万円くらい払っていると思います。

コストはこういうのがかかるので上げる必要があるときちゃんと開示して、住民の方に納得いただけるように説明して理解を求めていけば、受け入れる余地はあると思います。このまま行けば持続できないと理解をいただき、だからこうですという説明の仕方が必要なのかなと思います。

(会長) 市民の皆様にしちんとした説明を行い、ご理解をいただいた上でのご負担をお願いするというはとても大切なことと思います。特に、この環境変化のことにつきまして併せて理解いただけるような広報のあり方をお考えいただければと思います。

(委員) 6人暮らしが2人になったので、料金的には下がってきていますが、一般の家屋の世帯とマンションでは仕組みが違っていると聞いたので理解しながら使おうと思っています。どれぐらい使っているから料金はこれぐらいということも、一度認識をしていただく必要があると思いました。

(会長) 是非、今のご意見も参考にさせていただければと思います。

(委員) 水道料金は、年間で通せばすごい金額になるとは思いますが、当たり前の料金であって、毎月毎月の金額的に変わらないという感じがあります。いろいろな集まりの中では水道の話は出ないので、他はどれくらい使っているかわかりませんが、一般的に決まった額は払わないといけないっていうふうに私は思っています。そう深く考えてはなかったです。

(会長) そういう意味では、水道料金にはあまり関心を受けていないというのが市民の皆さんの今の実感だと思います。今回、改定となると、やっぱり水道も料金が変わっていかないといけないという気づきになればと思います。

(委員) 経営環境の変化とかいった部分とか、時勢的な修正部分も若干要素としてはあるのかなということ、また、中間評価の中でA、Bということで、順調にしているということでしょうけれど、向こう十年間の計画ですので、多少は追加・拡充など何かあればそのあたりの要素を入れていく必要があると率直に思いました。

(会長) 分かりました。ありがとうございます。

(委員) 今使っているものがどういう状況なのか、維持するためには、設備類の更新が必要なことなど、市民感覚に合ったアピールの仕方も大事だと思います。

(会長) 次回の審議会が水道ビジョンフォローアップの最終の話し合いになると思いますので、委員の皆様からのご意見を十分反映させまして、次回の審議会資料づくり、準備の方をよろしくお願いいたします。

以上で本日予定されておりました議事については、これで終了となります。

これ以降の事務連絡等の進行につきまして、事務局にお戻ししたいと思います。

3. 閉議

(会長) それでは以上で、議題の審査を終了します。

4. 事務連絡

(事務局) 最後に次回の開催についてお知らせをいたします。次回は7月もしくは8月に開催予定しておりますので、6月ぐらいに開催の依頼と日程の調整の方をさせていただければと思っております。

事務連絡は以上となります。

本日は、ご審議ありがとうございました。皆様にお伺いいたしました意見については、しっかりとビジョンに反映させ活かして参りたいと思います。

それでは、これにて令和4年度第1回上下水道事業運営審議会を終了いたします。ありがとうございました。

以上